

二九四三番

我が命いのちの 長ながく欲ほしけく 偽いつはりりを よくする人ひと  
を 捕とらふばかりを

二九四四番

人言ひとごとを 繁しげみと妹いもに 逢あはずして 心こころの中うちに  
恋こふるこのころ

二九四五番

玉梓たまづさの 君きみが使つかひを 待まちし夜よの なごりそ今いまも  
寝いねぬ夜よの多おほき

二九四六番

玉梓たまほこの 道みちに行ゆき逢あひて よそ目めにも 見みれば良よ  
き見こを 何い時つとか待またむ